

1、基本目標

隠岐の島町教育文化振興財団は、子どもから高齢者まで全ての町民が心豊かに暮らせるよう芸術文化の振興と地域社会の健全な発展に寄与することを目標に、多様な事業を展開する。

2、基本方針

隠岐の島町教育文化振興財団は、平成25年4月に組織を公益財団法人に改め、新たなスタートを踏み出した。

当財団が平成5年設立当初から掲げている、伝統文化の保存伝承、次世代を担う後継者の育成、文化・体育の振興等を積極的に推進する事を目的としながら、公益法人として業務の見直しを行い、町民から信頼される自主的、自立的な公益法人組織の確立を目指す。

また、文化会館・体育館・図書館・武道館の指定管理者として、効率的な各館の管理運営を行う中で、隠岐の島町の文化・体育振興施策の推進に寄与すると共に、町民が個性豊かな地域文化創造を発信できるように取り組む。

特に、幅広い世代の「町民参加」と次世代を担う青少年の育成を事業の主軸として推進していく。

3、個別事業計画

I 事務局及び隠岐島文化会館

(1) 文化事業の実施方針

当財団は、隠岐島文化会館を活用し、多様で質の高い芸術文化の提供及び創造する機会を目指し、次の6つの実施方針により事業を展開していく。

①鑑賞事業

伝統芸能などをはじめとする優れた芸術文化の鑑賞機会を町民に広く提供する事業

②育成事業

町内の芸術文化・伝統民俗文化それぞれの将来を担う人材を育てる事業

③芸術文化受託事業

隠岐の島町等から受託を受け、島外から劇団等を招聘する事業

④芸術文化支援事業

町内の芸術文化活動を行う団体や町民の活動支援を行う事業

⑤地域活性化事業

町・団体・公民館・学校などと連携して、各種公演等に町民の参加を促す事業

⑥展示・文化情報提供事業

町内で活動するグループや個人、町内の教育・福祉関連等の作品の展示をしたり、他団体の活動や各種の催しの情報を町民に広く提供する事業

(2) 隠岐島文化会館 貸館事業方針

①基本テーマ

貸館事業は、「利用者と同一立場に立って、お迎えすること。」を基本として取り組む。

②実施方針

「利用率の向上と施設の有効利用を図りながら町民への芸術文化活動の場の提供を行う。」
ことを踏まえ、貸館事業を推進していく。

③利用者意見の把握

多様な利用者の声を整理・分析し、必要な業務改善を図る。

(3) 実施事業一覧

①鑑賞事業

事業名	予算	開催時期	備考
映画上映	880,000 円	年4回程度	新作や話題映画の上映を行う。

②育成事業

事業名	予算	開催時期	備考
青少年人材育成事業	72,000 円	年間	町民自ら行う文化活動を活発にするため、ボランティアスタッフ KUROKO と舞台研修会等を行い、大ホール事業に対し協力を求める。 また、職員及びボランティアスタッフ KUROKO が能力向上を図るため、県内施設に出向き、舞台講習などを受ける。
		5月	しげさ節全国大会
		6月	ウルトラマラソン
		11月	文化祭文化グループ発表会
			予定 舞台技術研修会（町内、島外）他

③芸術文化支援事業

事業名	予算	開催時期	備考
芸術文化支援事業	0 円	年間	隠岐島文化会館を利用して行う美術、写真、工芸、また、大ホールを利用した音楽、演劇等について支援をする。
		5月10日	しげさ節全国大会
			上記以外のイベント
町内文化振興 支援事業	0 円	年間	町内各地で開催する文化活動について、協力・支援を行う。
		6月	ウルトラマラソン前夜祭、本番（ゴール）
			上記以外のイベント

④地域活性化事業

事業名	予算	開催時期	備考
おきゼミ	160,000 円	年1回	隠岐の歴史、文化を研究している方を講師にお迎えし、隠岐を再認識するとともに、隠岐の人材を育成する。
文芸隠岐発刊事業	470,000 円	令和4年 3月発刊 (予定)	隠岐島内に在住及び隠岐に住んでいた事のある文芸愛好者の方々の小説、随筆、詩、短歌、俳句、川柳等の発表の場として発刊する。(文芸隠岐 27号)
文化祭 文化グループ 発表会	15,000 円	11月7日 (予定)	文化会館を定期的に利用している文化グループが日頃の成果を発表し、芸術文化への理解と関心を深める。 併せてホールでイベントを開催し、文化祭を盛り上げる。
町民なんでも発表会	15,000 円	年1回	普段文化会館で活動していない町内の保育所、学校、個人、各団体の様々な内容の発表をすることにより、町民への芸術文化への参加と理解と関心を深める。
夏休み大ホール体験	10,000 円	年間	児童・生徒が参加しやすいよう、夏休み期間を活用し、大ホールを開放しながら、普段見ることのできない場所の見学や機材の操作を体験させる。

島根県公立文化施設 協力事業	446,000 円	年 間	島根県内公立文化施設と協力し、イベントを共同で開催する。 町民が生の舞台を鑑賞できる機会を作るとともに、色々な講師に来島してもらうことによって隠岐の情報発信を行う。
定期利用活性化事業	100,000 円	年 1～3 回 程度	定期利用を活性化するために、利用者と協議し、グループが盛り上がる企画を開催することによりグループの活性化と町民への理解と関心を深める。

⑤展示・文化情報提供事業

事 業 名	予 算	開催時期	備 考
隠岐島文化会館 情報発信	0 円	年 間	施設案内・会議室の予約状況、イベント情報等をホームページ、ポスター掲示等で情報発信をする。
わたしの作品展	0 円	年 間	気軽な文化活動の発表の場として、文化会館の各展示スペースを提供する。

II 隠岐の島町総合体育館・隠岐の島町運動公園

(1) 体育振興事業の実施方針

当財団は、隠岐の島町総合体育館・隠岐の島町運動公園を活用し、町民の健康保持・増進を図るとともに、スポーツ人口の拡大を目指し、隠岐の島町における体育振興の中核施設として次の6つの実施方針により事業を展開していく。

①鑑賞事業

優れた芸術文化やスポーツなどの鑑賞・観戦機会を町民に広く提供する事業

②育成事業

町内のスポーツ指導者としての将来を担う人材を育てる事業

③芸術文化支援事業

町内の芸術文化活動を行う団体や町民の活動支援を行う事業

④スポーツ、体育活動支援事業

町内で活動する団体が行う各種大会や教室について大会運営、指導等の支援をする事業

⑤地域活性化事業

町・団体・公民館・学校などと連携して、各種スポーツ体験並びに、公演等に町民の参加を促す事業

⑥展示・文化情報提供事業

隠岐の島町出身のスポーツ選手の資料の展示をしたり、他団体の活動や各種の催しの情報を町民に広く提供する事業

(2) 隠岐の島町総合体育館 貸館事業方針

①基本テーマ

貸館事業は、「利用者と同じ立場に立って、お迎えすること。」を基本として取り組む。

②実施方針

「利用率の向上と施設の有効利用を図りながら町民へのスポーツ・芸術文化活動の場の提供を行う。」ことを踏まえ、貸館事業を推進していく。

③利用者意見の把握

多様な利用者の声を整理・分析し、必要な業務改善を図る。

(3) 実施事業一覧

②育成事業

事業名	予算	開催時期	備考
スポーツ指導者 育成講習会	90,000 円	年1回	町内スポーツ指導者や学校関係者等を対象に、県体育協会等と連携し、スポーツ等の指導者育成を目的として実施する。
つなGO 隠岐の島	50,000 円	調整中	柳本晶一バレーボール教室 アテネ、北京両オリンピック全日本女子バレーボールチーム監督の柳本晶一氏を講師に招いて、中高生及び指導者を対象に講習会を開催する。
			陸上教室等 アスリートネットワークと連携し、元オリンピック選手を講師に招いて講習会を開催する。
救急法講習会	0 円	年1回	体育館教室講師、各種スポーツ団体指導者及び、利用者を対象に救急法（AED）の講習会を実施する。

③芸術文化支援事業

事業名	予算	開催時期	備考
交流会等 イベント事業	0 円	年間	各種芸術文化の普及、交流を目的としたイベントに協力し、実施する。
		6月	ウルトラマラソン前夜祭イベント
			各種、研修会等でのイベント

④スポーツ、体育活動支援事業

事業名	予算	開催時期	備考
レインボー アリーナ杯	101,000 円	年間	各種スポーツの普及・交流を目的として 財団が主催、共催として実施する。
			ソフトボール大会(運動公園)
			9人制バレーボール大会
			ソフトバレーボール大会
			スポンジテニス大会
スポーツ・体育活動 支援事業 (体育館)	0 円	年間	体育館において、各種団体が開催する大会等が円滑にできるように企画運営に協力・支援を行う。
		6月	隠岐の島町ウルトラマラソン
		2月	ちびっ子長縄跳び大会
			上記以外のイベント
スポーツ・体育活動 支援事業 (運動公園)	0 円	年間	運動公園において各種団体が開催する大会等が円滑に運営できるよう協力・支援を行う。
		8月	ごさんせカップ
		11月	全隠岐駅伝競走大会
			上記以外のイベント

⑤地域活性化事業

事業名	予算	開催時期	備考
スポーツ教室	826,000 円	年間	町民の健康保持増進と体力づくりを図るとともに各種スポーツの普及振興に努める。 ○スポンジテニス教室（月曜） ○バドミントン教室 （昼の部（火曜）・夜の部（水曜）） ○Jr.レスリング教室（水曜） ○Jr 卓球教室（木） ○卓球教室（火曜・木曜） ○ラージボール卓球教室（木曜） ○ソフトバレー教室 （昼の部（金曜）・夜の部（金曜）） ○健康体操教室（金）

(新) 生涯スポーツ 体験事業	0 円	年2～3回	誰でも・いつでも参加出来るスポーツとして、ニュースポーツの体験会を実施し、町民の体力づくりに繋げる。 実施種目 卓球・カローリング・スポンジテニス・クロリティー・ポールウォーキング・室内グラウンドゴルフ・ユニホック等
夏・冬休み複合型 子ども教室	24,000 円	夏・冬休み 期 間	子どもの体力低下が懸念される中、中学年以下の児童を対象に、スポーツ用具を活用して、楽しみながら体力作りに取り組める教室を実施する。
開放事業 レインボーアリーナ の日	50,000 円	年1～2回	アリーナ全面に各スポーツコーナーを設け、気軽に参加でき、運動することの楽しさや大切さを体感できる機会を提供し、健康体力づくり、スポーツの普及・振興を図る。又、教育委員会・役場保健課・福祉課と協力して体力測定・食育等を取り入れ、町民の健康作りに繋がる事業を実施する。
ニュースポーツ 体験会	15,000 円	11月～3月	アリーナ職員が各地区に出向いて、ニュースポーツの紹介をし、楽しく体力づくりに取り組めるスポーツを提供する。 種目：カローリング、クロリティ、ディスクゲッター、ニチレクボール等

⑥展示・文化情報提供事業

事業名	予算	開催時期	備考
資料・作品展	0 円	年 間	隠岐出身のスポーツ選手の資料を展示したり、他団体の活動及び各種催しの情報を、町民に広く提供する。 ＜隠岐の島町出身のアスリート＞ 大 相 撲 隠岐の海（八角部屋） 展示：写真・色紙・番付表 サッカー 平野甲斐 展示：写真・色紙・ユニフォーム等

Ⅲ 西郷武道館

(1) 武道館事業の実施方針

当財団は、西郷武道館を活用し、武道を通じてスポーツ振興を図り、町民の心身の健全な発達及び町民相互の交流を深めることをめざし、隠岐の島町における武道の中核施設として次の実施方針により事業を展開していく。

①展示・文化情報提供事業

隠岐の島町出身のスポーツ選手の資料の展示をしたり、他団体の活動や各種の催しの情報を町民に広く提供する事業

(2) 西郷武道館貸館事業方針

①基本テーマ

貸館事業は、「利用者と同じ立場に立って、お迎えすること。」を基本として取り組む。

②実施方針

「利用率の向上と施設の有効利用を図りながら町民への武道の場の提供を行う。」ことを踏まえ、貸館事業を推進していく。

③利用者意見の把握

多様な利用者の声を整理・分析し、必要な業務改善を図る。

(3) 実施事業一覧

①展示・文化情報提供事業

事業名	予算	開催時期	備考
資料・作品展	0 円	年間	隠岐出身のスポーツ選手及び、隠岐に 来島した選手の資料、または町内・県内情報 を展示する。

IV 隠岐の島町図書館

(1) 図書館事業の実施方針

当財団は、隠岐の島町図書館を運営し、町民の知的活動の基礎となる読書や情報収集活動を支援し、隠岐の島町の図書館事業の中核施設として次の事業を展開していく。

①図書館事業

- 1) 図書や資料の収集及び整理・保存を行う。
- 2) 公民館・保育所・学校との連携や遠距離貸し出し等のサービスを行う。
- 3) ブックトーク、季節に合わせた行事、講座や読み聞かせなどの読書普及活動の推進を行う。
- 4) 各展示スペース、情報誌読まんかねなどを利用し、イベントや新着図書などの様々な情報を発信する。

(2) 実施事業一覧

①図書館事業

事業名	予算	開催時期	備考
ブックスタート事業	0 円	毎月 第3水曜日	町内で生まれた赤ちゃんと、その保護者に絵本を手渡し、絵本を開く楽しい体験を知ってもらい、かけがえのないひと時を持つきっかけ作りをする。(ボランティア・役場・教委と連携) 4ヶ月の乳児：健診時に、読み聞かせと絵本2冊プレゼント 3歳児：図書館で絵本1冊プレゼント
季節の行事	27,000 円	年間	ボランティアグループの協力を得て、季節の行事にあった、紙芝居・読み聞かせ・工作等を行う。
		7月	たなばた会
		12月	クリスマス会
子ども読書の日記念行事	3,000 円	4月24日	4月23日の「子ども読書の日」を記念し、親子または子どもたちを対象に、お話し会を開催する。
親と子の読書活動 普及事業	24,700 円	年間	保護者または親子を対象に、親子読書や子どもの読書を推進する啓発活動を行う。 ※親子読書啓発チラシ配布など
しまね子育て絵本の貸出	0 円	年4回	県立図書館から寄託を受けた「しまね子育て絵本」35箱(約1,000冊)を管理し、町内保育施設やボランティア等へ貸出をする。※1ヶ所につき3ヶ月ごと2箱貸出
図書館講座	30,000 円	年1回	町内の有識者を講師に招き、図書館講座を行い、読書への関心を高める。

図書館まつり	6,000 円	11 月初旬	西郷文化祭開催に併せて開催し、古本市など各種行事を行い、より多くの方に図書館に親しむきっかけをつくる。
夜の図書館 「よるとしよ」	30,000 円	年 3 回	図書館を夜間開館し、同時に様々なイベントを開催することで、幅広い方に来館のきっかけを作る。 ※朝の開館を早めるイベントも実施
展示事業	8,000 円	毎 月	図書館内のカウンター前のスペース、図書館奥の展示ケースへ郷土資料の展示や、地域の作品、図書等を展示する。 また、町民に役立つ資料等を定期的に更新する。
図書館開放事業	0 円	年 間	図書館研修室等を開放し、町民の方々に広く利用してもらう。
読まんかね発行事業	8,000 円	毎 月	図書館の新着図書紹介やイベントなどの紹介をするために発行する。
プレジャー発行事業	5,000 円	5 月 9 月 R4 年 1 月	中学生・高校生のための読書案内を作成し、青少年のよりよい読書環境の形成を図る。
雑誌コーナーの充実	0 円	年 間	雑誌コーナーを充実させるために法人や個人などに協力を求める。
ボランティアとの 連携強化	0 円	年 間	多様な利用者に対する図書館サービスを展開するために、ボランティアとの連携を強化する。
図書館年報の発刊	3,000 円	5 月	図書館年報を発刊し、業務の分析をする。
郷土資料保存公開 事業	5,000 円	年間	郷土資料のデジタルアーカイブ（デジタル媒体への記録・保存）等を進め、目録作成と活用促進を行う。 ※単年度事業（更新あり）
課題解決支援事業	7,000 円	年 間	資料や情報を有効活用し、地域や町民の課題解決を支援する。 子育て、健康・医療、法律等に関する情報や地域資料等、地域の実情に応じた情報提供サービスや講座を行う。 ※パスファインダー（調べ方ガイド）作成
各関係機関との 連携強化	0 円	年間	学校図書館との連携： 学校図書館訪問を行い、担当教諭や学校司書と課題点などを話し合いながら、相互の児童の図書利用を促進させる。

			公民館図書室との連携・配本： 各公民館図書室及び中出張所に、数百冊程度の図書の配本を行い、地域の利用者へ貸出返却などのサービスを拡大する。 五箇公民館 年4回 都万公民館 年4回 布施公民館 年2回 中出張所 年2回
			島根県立図書館との連絡会： 県立図書館の司書と図書館運営に関しての意見交換や研修を行う。
			隠岐ジオパーク推進協議会との連携： ジオパーク推進協議会と連携し、図書館がジオパーク学習の拠点のひとつとなるよう情報提供や講座（共催）を開催する。 ジオコーナーの設置 ジオゲートウェイへの配本
住民主体事業	0 円	毎週土曜日	おはなしのへや （主催：ボランティアグループ おはなしのへや） 読み聞かせを基本に、幼児・児童サービスを行う。
		毎月 第2土曜	隠岐アゴラ （主催：隠岐アゴラの会） 参加者がおすすめの本を紹介し合い、本を通して意見を述べ合う中で、読書や興味の幅を広げる。
ファミリータイム	0 円	毎週日曜日	乳児連れの方でも来館しやすいよう、館内に赤ちゃんの泣き声に理解を求める掲示をするとともに、赤ちゃん向けおはなし会「はじめてのえほん」の開催と、その後おもちゃの開放をする。
国立国会図書館資料 送信サービスの活用	0 円	年間	国立国会図書館が作成したデジタルデータを、当館内パソコンで閲覧できるようにする。